



自己中心的な私が

煩惱の中でどうやって生きていくのか

一日一日を意味あるものにしよう

すべてのものは移り変わって何ひとつ変わらないものはないというお釈迦さまの「諸行無常」の教えは、時代と地域を超えた真理の一つなのですが、親鸞聖人の教えは、この真理に反する私の姿というものを究極的に突き詰めていかれた結果の教えだと思っています。

時代や地域を問うことなく「真理」と向き合っていれば、世界中どこでも、私たちはそれをよりどころとして生きていけるはずです。

しかし、出家をせず^{しゅつげ}にこの世間に生きていく私たちは、どうしても自己中心的なあり方を克服しきれません。

自己中心的な姿、考え方を持っている私たちがどうやって生きていくのかを示してくださったのが、親鸞聖人なのです。煩惱^{ぼんのう}から離れきることはできなくとも、阿弥陀さまの光に照らされながら、一日一日を「意味あるもの」として生きていく。一日一日をただ単に「過ごしていく」のではなく、教えに照らされて「意味のあるもの」として生きていく。

この社会から離れるのではなく、素晴らしいご縁の中で、互いに支え合いながら生きていくことが大切でしょう。